

(別表) 授業科目の種類及び履修方法

学部共通基盤専門科目 (昼間主コース)

専門基盤力科目

科目番号	授 業 科 目	提供先 プログラム	単位数	週時間	受講 年次	学 期	授 業 内 容
学共100	基礎演習		2	(2-0)	1	前	初年次教育をベースに、大学での学び方、レポートや論文の書き方、情報の検索と活用法、キャリア教育の最初の一步、等について学ぶ。
学共101	観光地域デザイン入門	観光	2	(2-0)	1	前	観光学の基礎概念や基礎理論等について学ぶ。
学共102	経営学入門	経営	2	(2-0)	1	前	経営学の基本的なフレームワークについて理論的・実践的に学習する。
学共103	簿記入門	経営	4	(4-0)	1	前	企業が公表する財務諸表の作成技術である複式簿記の基礎を学ぶ。
学共104	社会科学のためのゲーム論入門	経済	2	(2-0)	1	前	ゲーム理論の基礎的内容についての講義する。
学共105	経済学概論	経済	2	(2-0)	1	前	市場機構の働きや一国の経済活動についての基礎的な内容について、ケース・スタディなどを通して、講義する。
学共106	言語科学入門	国言	2	(2-0)	1	前	言語に対する様々な研究方法を学び、言語を科学的に分析することの基礎を学ぶ。
学共107	地理総合	地域	2	(2-0)	1	前	地理学に関する基礎知識を概観する。
学共108	社会科学のための統計入門	経済	2	(2-0)	1	前	社会科学研究を行う上で習得すべき基礎的なデータ処理と統計学の基礎を講義する。
学共111	観光とサステナビリティ	観光	2	(2-0)	1	後	持続可能な観光を成立させるための要件について多面的な持続可能性の観点から学ぶ。
学共112	マーケティング入門	経営	2	(2-0)	1	後	企業が自社の業績を上げるために展開する活動について、事例を交えてわかりやすく解説する。
学共113	英米文学概論	国言	2	(2-0)	1	後	イギリス・アメリカ文学の基礎知識を作品を通じて通覧し、英米文化に対する理解を深める。
学共114	ヨーロッパ文化論	国言	2	(2-0)	1	後	古代文明から始まり、キリスト教の発展、産業革命を経て現代に至るまで、ヨーロッパ文化の形成と展開の諸相に迫る。
学共115	歴史総合	地域	2	(2-0)	1	後	歴史学に関する基礎知識を概観する。
学共116	人類文化入門	地域	2	(2-0)	1	後	人類文化に関する基礎知識を概観する。
学共121	テーマ型ツーリズム入門	観光	2	(2-0)	2	前	テーマ性が強く、地域の特性を活かした体験型・交流型の要素を取り入れた新しい形態の旅行について学ぶ
学共122	日本経済入門	経済	2	(2-0)	2	前	現代の日本が直面している様々な経済問題について、初歩的な経済理論を用いて解説する。
学共123	英米文化入門	国言	2	(2-0)	2	前	イギリス・アメリカ文化の諸相について、様々な学問的アプローチをとおして理解を深める。
学共124	自然地理学概論	地域	2	(2-0)	2	前	地球表面の自然地理学的事象について概観する。
学共125	サービス経営入門	経営	2	(2-0)	2	前又は後	サービス経営に関する基礎的な知識を、理論とケースから学ぶ。
学共126	会計ファイナンス入門	経営	2	(2-0)	2	後	前半は企業が公表する会計数値の持つ意味を、後半は企業の資金調達の方法等の基礎を学ぶ。

学部共通基盤専門科目（昼間主コース）

地域・国際基盤力科目（プログラム系科目）

科目番号	授業科目	提供先 プログラム	単位数	週時間	受講年次	学期	授業内容
学共201	沖縄観光政策入門	観光	2	(2-0)	1～2	前又は後	観光立県・沖縄の観光基本計画、誘客事業、受け入れ体制整備事業など幅広い分野にまたがる観光振興施策について学ぶ。
学共202	沖縄観光ビジネス入門	観光	2	(2-0)	1～2	前又は後	多様な企業が関わる沖縄の観光ビジネスの現状と課題について学ぶ。
学共203	沖縄観光と健康入門	観光	2	(2-0)	1～2	前又は後	健康資源と観光の融合を図るヘルスツーリズムの観点から沖縄の現状と課題について学ぶ。
学共204	沖縄観光資源マネジメント入門	観光	2	(2-0)	1～2	前又は後	沖縄の多様な自然環境や独特な歴史・文化を観光資源として活用する際の持続可能なマネジメントのあり方を学ぶ。
学共205	地域経済入門	経済	2	(2-0)	1～2	前又は後	島嶼における持続的・自律的な社会と経済について様々な視点から考察する。
学共206	国際経済入門	経済	2	(2-0)	1～2	前又は後	国際貿易、国際直接投資、国際金融の基礎知識について講義する。
学共207	経済史入門	経済	2	(2-0)	1～2	前又は後	近代から現代における経済成長の過程及び諸産業の発展過程を講義する。
学共208	社会政策入門	経済	2	(2-0)	1～2	前又は後	社会の問題を検討し、解決する主体や方法を、地域再生、文化政策、貧困問題など今日的テーマで考えていく。
学共209	異文化理解	国言	2	(2-0)	1～2	前又は後	多様な文化背景を持つ英文の講義や、英語によるコミュニケーション活動を通じて異文化についての理解を深める。
学共210	地誌学概論	地域	2	(2-0)	1～2	前又は後	日本及び外国の地誌について概観する。
学共211	日本史概論	地域	2	(2-0)	1～2	前又は後	日本の古代から近現代までの歴史について概観する。
学共212	世界史概論(東洋史)	地域	2	(2-0)	1～2	前又は後	東洋の古代から近現代までの歴史について概観する。
学共213	世界史概論(西洋史)	地域	2	(2-0)	1～2	前又は後	西洋の古代から近現代までの歴史について概観する。
学共214	社会人類学 I	地域	2	(2-0)	1～2	前又は後	社会人類学の体系的な概要について学ぶ。
学共215	考古学 I	地域	2	(2-0)	1～2	前又は後	考古学の体系的な概要について学ぶ。
学共216	民俗学 I	地域	2	(2-0)	1～2	前又は後	民俗学の体系的な概要について学ぶ。
学共217	まちづくり地域興し論	地域	2	(2-0)	2	前又は後	様々な切り口から、まちづくり・地域興しの事例を概観しその手法を身に着け、地域資源を生かした提言ができるようにする。
学共218	マーケティング実践研究	経営	2	(2-0)	2	前又は後	マーケティングの事例研究をしながら、受講者に実践的に提案および試作品の制作を行う。

学部共通基盤専門科目（昼間主コース）

地域・国際基盤力科目（プログラム複合科目）

科目番号	授業科目	主担当プログラム	単位数	週時間	受講年次	学期	授業内容
学共250	島嶼観光入門	観光	2	(2-0)	1～2	前又は後	島嶼の資源を持続的に活かした観光のあり方について、島嶼の概念や分類、島嶼経済の視点を含め多面的に学ぶ。
学共251	Introduction to Global Business	経営	2	(2-0)	1～2	前又は後	グローバルな視点から、企業が直面する国際課題と今後の展望について考察する。
学共252	沖縄産業入門	経営	2	(2-0)	1～2	前又は後	沖縄を基軸とする産業の特徴と問題点を把握し、産業振興に向けた課題について考察する。
学共253	島嶼社会経済入門	経済	2	(2-0)	1～2	前又は後	島嶼における持続的・自律的な社会と経済について様々な視点から考察する。
学共254	沖縄経済入門	経済	2	(2-0)	1～2	前又は後	沖縄の産業構造、雇用、財政、沖縄振興策等について講義する。
学共255	EU研究	国言	2	(2-0)	1～2	前又は後	EU（欧州連合）の始まりと現状、その深化がもたらすヨーロッパ諸国の変化とグローバルな活動などについて概観する。
学共256	メディアの英語	国言	2	(2-0)	1～2	前又は後	各種メディアをとおして生きた英語を学び、総合的英語力の向上を目指す。
学共257	地域文化資源と博物館	地域	2	(2-0)	1～2	前又は後	地域の文化資源と博物館の基礎知識を概観する。
学共258	人の移動とグローバル社会	地域	2	(2-0)	1～2	前又は後	人の移動とグローバル社会について事例を取り上げて概観する。

プログラム専門科目（昼間主コース）
 経済学プログラム専門科目（基礎科目）

科目番号	授 業 科 目	単位数	週時間	受講年次	学 期	授 業 内 容
経済101	経済数学（基礎）	2	(2-0)	2	前①	経済学の修得に最低限必要な数学を学習する（基礎）。
経済102	経済数学（応用）	2	(2-0)	2	前②	経済学の修得に最低限必要な数学を学習する（応用）。
経済103	ミクロ経済学（基礎）	2	(2-0)	2	後①	基礎では、各経済主体（消費者・企業・政府など）の行動および、ケース・スタディを交え、現実社会への応用も講義する。
経済104	ミクロ経済学（応用）	2	(2-0)	2	後②	応用では、基礎で学んだ内容（経済主体の行動）にもとづいて、市場機構のはたらきを中心に講義する。
経済105	マクロ経済学（基礎）	2	(2-0)	2	後①	マクロ経済学（応用）とともに、マクロ経済学の初中級の内容を講義する。
経済106	マクロ経済学（応用）	2	(2-0)	2	後②	マクロ経済学（基礎）とともに、マクロ経済学の初中級の内容を講義する。
経済107	基礎統計学	2	(2-0)	2	前	経済データの分析を行うために必要な基礎的な統計学の理論について講義する。
経済301	日本経済史	2	(2-0)	2後～3	前又は後	近世から近代における経済政策、諸産業の発展過程とその際に生じた公害問題、環境問題などについて講義する。
経済302	西洋経済史	2	(2-0)	2後～3	前又は後	コロナによる『新大陸』の発見に始まる西洋を中心としたグローバル化と、アジアへの工業化の波及について講義する。
経済303	経済政策論	2	(2-0)	2後～3	前又は後	経済政策に関わる諸原理と経済理論の政策的応用。日本経済や世界経済を取り巻く構造と変化、政策対応、市場機構と資源配分、経済成長と経済安定化、グローバル化の経済への影響、エネルギー、環境、社会保障など。
経済304	財政学	2	(2-0)	2後～3	前又は後	公共財、予算、税制、財政赤字、社会保障、財政政策をはじめ、財政が抱える様々な問題を考える。
経済305	金融論	2	(2-0)	2後～3	前又は後	金融経済に関わる経済理論を体系的に講義する。
経済306	計量経済学	2	(2-0)	2後～3	前又は後	基礎的な計量経済学を概説する。
経済307	国際経済学	2	(2-0)	2後～3	前又は後	国際貿易、国際直接投資の理論・政策について講義する。
経済308	ゲーム理論	2	(2-0)	2後～3	前又は後	ゲーム理論に関する初中級の内容を講義する。
経済309	環境経済学	2	(2-0)	2後～3	前又は後	環境問題や環境政策を経済学の視点から読み解くための基礎知識を学ぶ。
経済310	労働経済学	2	(2-0)	2後～3	前又は後	労働供給、労働需要の理論的な理解を土台として、賃金や雇用、失業のメカニズムを学習する。
経済311	公共経済学	2	(2-0)	2後～3	前又は後	公共部門の存在根拠のほか、公共部門による活動やその効果について、主にミクロ経済学の視点から解説する。
経済312	開発経済学	2	(2-0)	2後～3	前又は後	発展途上国の貧困問題を経済学的に考察し、経済開発や開発援助のあり方などについて学習する。
経済313	社会政策論	2	(2-0)	2後～3	前又は後	社会の問題を検討し、解決する主体や方法を考える。社会保障、労働問題、地域再生、文化政策などの分野や「子どもの貧困」などの今日的課題も取り扱う。
経済314	法と経済学	2	(2-0)	2後～3	前又は後	経済モデルを使い、経済学がどのように法制度を説明するのかを不法行為・所有権法等の分野を通して講義する。
経済315	情報処理実習	2	(0-2)	2後～3	前又は後	経済の統計を使い、情報処理の方法について学習する。

プログラム専門科目（昼間主コース）

経済学プログラム専門科目（応用科目）

科目番号	授業科目	単位数	週時間	受講年次	学期	授業内容
経済401	産業組織論	2	(2-0)	3~4	前又は後	企業や企業の集合としての産業全体の経済行動を対象にしたミクロ経済学の応用について講義する。
経済402	地域政策論	2	(2-0)	3~4	前又は後	地域の公共政策的課題や経済・産業振興に関する諸課題について取り扱う。地域における政策主体や政策目的、地方自治体レベルでの、産業政策、医療・福祉、交通、都市政策等の政策形成プロセス。
経済403	都市経済学	2	(2-0)	3~4	前又は後	東京一極集中の問題をはじめ、交通混雑、土地利用、住宅や企業の立地、環境、財政など都市が抱える様々な問題を学習する。
経済404	ファイナンス理論	2	(2-0)	3~4	前又は後	金融資産の概略、価格付け等に関する理論を講義する。
経済405	応用統計学	2	(2-0)	3~4	前又は後	時系列モデルや一般化線形モデルなど、主に経済データの分析に利用されるより発展的な統計分析の手法について講義する。
経済406	応用計量経済学	2	(2-0)	3~4	前又は後	計量経済学の応用編。ミクロ計量分析やマクロ計量分析について講義する。
経済407	社会経済史	2	(2-0)	3~4	前又は後	近代都市の形成過程とその際に生じた諸問題について講義する。
経済408	国際マクロ経済学	2	(2-0)	3~4	前又は後	国際金融の基礎知識、国際マクロ経済の理論・政策について講義する。
経済409	島嶼経済論	2	(2-0)	3~4	前又は後	島嶼地域の特性を踏まえた経済のあり方と持続的発展の可能性について考察する。
経済410	教育経済学	2	(2-0)	3~4	前又は後	経済学的な思考を土台に教育行動を合理的に説明し、その上で教育や教育システムのあるべき姿を考察する。
経済411	地方財政論	2	(2-0)	3~4	前又は後	地方分権をめぐる様々な論点を経済学の視点から考察し、我が国の地方財政制度の現状や課題について解説する。
経済412	アジア経済論	2	(2-0)	3~4	前又は後	アジア経済の発展パターンとその要因を経済学的に考察し、他の発展途上国・地域と比較しながら発展のために必要な政策などについて学習する。
経済413	応用金融論	2	(2-0)	3~4	前又は後	金融政策、金融機関の業務、金融制度、および金融商品の運用について学習する。
経済499	卒業研究	2	(0-2)	4	後	卒業論文の作成を行う。

プログラム専門科目（昼間主コース）

経済学プログラム専門科目（地域・国際実践力科目）

科目番号	授業科目	単位数	週時間	受講年次	学期	授業内容
経済501	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	(0-2)	3	前	分野毎の個別研究・討議・発表・論文の作成を行う。
経済502	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	(0-2)	3	後	分野毎の個別研究・討議・発表・論文の作成を行う。
経済503	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	(0-2)	4	前	分野毎の個別研究・討議・発表・論文の作成を行う。
経済504	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	(0-2)	4	後	分野毎の個別研究・討議・発表・論文の作成を行う。
経済551	実践経済学	2	(2-0)	2~3	前又は後	民間企業や金融機関等の実務に関連する諸問題について、外部講師による講義を中心に学習する。

経済学プログラム専門科目（昼間主）

経済学プログラム専門科目（基礎科目）

科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考	科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考
経済101	経済数学（基礎）	2	2	前①	必修	経済305	金融論	2	2後～3	前又は後	
経済102	経済数学（応用）	2	2	前②	必修	経済306	計量経済学	2	2後～3	前又は後	
経済103	ミクロ経済学（基礎）	2	2	後①	必修	経済307	国際経済学	2	2後～3	前又は後	
経済104	ミクロ経済学（応用）	2	2	後②	必修	経済308	ゲーム理論	2	2後～3	前又は後	
経済105	マクロ経済学（基礎）	2	2	後①	必修	経済309	環境経済学	2	2後～3	前又は後	
経済106	マクロ経済学（応用）	2	2	後②	必修	経済310	労働経済学	2	2後～3	前又は後	
経済107	基礎統計学	2	2	前	必修	経済311	公共経済学	2	2後～3	前又は後	
経済301	日本経済史	2	2後～3	前又は後		経済312	開発経済学	2	2後～3	前又は後	
経済302	西洋経済史	2	2後～3	前又は後		経済313	社会政策論	2	2後～3	前又は後	
経済303	経済政策論	2	2後～3	前又は後		経済314	法と経済学	2	2後～3	前又は後	
経済304	財政学	2	2後～3	前又は後		経済315	情報処理実習	2	2後～3	前又は後	

注1：経済数学（基礎）、経済数学（応用）、基礎統計学、ミクロ経済学（基礎）、ミクロ経済学（応用）、マクロ経済学（基礎）、マクロ経済学（応用）の7科目は必修。

経済学プログラム専門科目（応用科目）

科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考	科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考
経済401	産業組織論	2	3～4	前又は後		経済408	国際マクロ経済学	2	3～4	前又は後	
経済402	地域政策論	2	3～4	前又は後		経済409	島嶼経済論	2	3～4	前又は後	
経済403	都市経済学	2	3～4	前又は後		経済410	教育経済学	2	3～4	前又は後	
経済404	ファイナンス理論	2	3～4	前又は後		経済411	地方財政論	2	3～4	前又は後	
経済405	応用統計学	2	3～4	前又は後		経済412	アジア経済論	2	3～4	前又は後	
経済406	応用計量経済学	2	3～4	前又は後		経済413	応用金融論	2	3～4	前又は後	
経済407	社会経済史	2	3～4	前又は後		経済499	卒業研究	2	4	後	必修

注1：卒業研究は必修。

経済学プログラム専門科目（地域・国際実践力）

科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考	科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考
経済501	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	3	前	必修	経済551	実践経済学	2	2～3	前又は後	
経済502	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	3	後	必修						
経済503	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	4	前	必修						
経済504	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	4	後	必修						

注1：地域・国際実践力演習Ⅰ～Ⅳは必修。

注2：地域・国際実践力科目は、上記科目以外に他プログラム・他学部提供の専門科目・教職科目も含まれる。

授業科目の区分		必修	選択	選択必修	
共通教育	教養領域	健康運動系科目	2	6	
		人文系科目	2		
		社会系科目	2		
		自然系科目	2		
	総合領域	総合			
		琉大特色・地域創生科目	4		
		キャリア関係科目			
	基幹領域	情報関係科目			
		第1外国語	8		
		第2外国語	4		
小計		24	6		
共通教育科目総計		30			
専門教育	学部共通基盤専門科目	専門基盤力科目	2	12	
		地域・国際基盤力科目（プログラム系科目）		6	
		地域・国際基盤力科目（プログラム複合科目）			4
	プログラム専門科目	経済学プログラム専門科目（基礎科目）	14	16 (基礎科目8単位を含む)	
		経済学プログラム専門科目（応用科目）	2		
		地域・国際実践力科目	8		4
	地域・国際実践力科目（読替科目）			26	
	小計		26	64	4
専門教育科目総計		94			
総単位数		124			

- 卒業単位は合計124単位以上とする。
- 共通教育科目は30単位とする。

教養領域	健康運動系科目	2単位以上
	人文系科目	2単位以上
	社会系科目	2単位以上
	自然系科目	2単位以上
総合領域	琉大特色・地域創生及びキャリア関係科目	4単位以上
健康運動系科目を除く教養領域・総合領域及び情報関係科目		6単位以上
基幹領域	第1外国語	8単位以上
	第2外国語	4単位以上

注1) 共通教育等の履修要件の詳細については「琉球大学共通教育等履修規程」及び同規程別表3「各学部学科等別共通教育等履修基準表」を参照すること。

- 専門科目は94単位以上とする。
 - 学部共通基盤専門科目は以下のとおり合計24単位以上を履修する。
 - 専門基盤力科目は、基礎演習(2単位・必修)を含む14単位以上を履修する。
 - 基礎演習を除く専門基盤力科目12単位のうち、経済学プログラム提供の社会科学のためのゲーム論入門、経済学概論、社会科学のための統計入門、日本経済入門の中から3科目(6単位)以上および、他の2つ以上のプログラム提供の科目をそれぞれ1科目(4単位)以上が含まれること。
 - 地域・国際基盤力科目は、10単位以上履修する。
 - ・プログラム系科目を6単位以上履修する。
 - ・プログラム複合科目(選択必修)4単位以上を履修する。
 - 経済学プログラム専門科目は以下のとおり合計70単位以上を履修する。
 - 基礎科目のうち、基礎統計学、経済数学(基礎)、経済数学(応用)、ミクロ経済学(基礎)、ミクロ経済学(応用)、マクロ経済学(基礎)、マクロ経済学(応用)の7科目(14単位)を含む22単位以上を履修する。
 - 応用科目は卒業研究(2単位)を必修とする。
 - 基礎科目と応用科目を合わせて32単位以上を履修する。
 - 地域・国際実践力科目は、地域・国際実践力演習Ⅰ～Ⅳ(必修・8単位)を含む12単位以上を履修する。
 - 他プログラム・他学部提供の専門科目・教職科目は、プログラム専門科目(地域・国際実践力科目)の単位として読み替えることができる。
 - 学部共通基盤専門科目(24単位)及びプログラム専門科目(32単位)を超過した分は、プログラム専門科目(地域・国際実践力科目)の単位として読み替えることができる。
- 一学期に登録できる単位数の上限は20単位(共通教育科目を含め)とする。ただし集中講義はこの中に含まない。
- 直前に在学した学期の5段階評価によるGPAが3.0以上の者は、指導教員の指導・承認を得て26単位までの登録を認める。
- GPAの値にかかわらず、教員免許・博物館学芸員等の資格取得予定者は、指導教員の指導・承認を得て登録単位の上積みをも6単位まで認める。ただし、超過する分は資格取得に必要な該当科目とする。
- 資格取得希望者に該当する者のGPAが3.0以上の場合でも26単位までとする。

注2) 昼間主コースの学生は、夜間に開講される授業科目から履修することができ、そのうち40単位までは卒業単位として認められる。

学部共通基盤専門科目（夜間主コース）

専門基盤力科目

科目番号	授業科目	提供先プログラム	単位数	週時間	受講年次	学期	授業内容
B学共100	基礎演習		2	(2-0)	1	前	初年次教育をベースに、大学での学び方、レポートや論文の書き方、情報の検索と活用法、キャリア教育の最初の一步、等について学ぶ。
B学共102	経営学入門	経営	2	(2-0)	1	前	経営学の基本的なフレームワークについて理論的・実践的に学習する。
B学共105	経済学概論	経済	2	(2-0)	1	前	市場機構の働きや一国の経済活動についての基礎的な内容について、ケース・スタディなどを通して、講義する。
B学共108	社会科学のための統計入門	経済	2	(2-0)	1	前	社会科学研究を行う上で習得すべき基礎的なデータ処理と統計学の基礎を講義する。
B学共256	メディアの英語	国言	2	(2-0)	1	前	各種メディアをとおして生きた英語を学び、総合的英語力の向上を目指す。
B学共112	マーケティング入門	経営	2	(2-0)	1	後	企業が自社の業績を上げるために展開する活動について、事例を交えてわかりやすく解説する。
B学共122	日本経済入門	経済	2	(2-0)	1	後	現代の日本が直面している様々な経済問題について、初歩的な経済理論を用いて解説する。
B学共118	実用英語演習Ⅰ	国言	2	(2-0)	1	後	社会におけるさまざまな場面において英語で情報を発信できる総合的英語力を養成する。
B学共124	自然地理学概論	地域	2	(2-0)	2	前又は後	地球表面の自然地理学的事象について概観する。
B学共211	日本史概論	地域	2	(2-0)	2	前又は後	日本の古代から近現代までの歴史について概観する。
B学共212	世界史概論(東洋史)	地域	2	(2-0)	2	前又は後	東洋の古代から近現代までの歴史について概観する。
B学共213	世界史概論(西洋史)	地域	2	(2-0)	2	前又は後	西洋の古代から近現代までの歴史について概観する。
B学共214	社会人類学Ⅰ	地域	2	(2-0)	2	前又は後	社会人類学の体系的な概要について学ぶ。
B学共215	考古学Ⅰ	地域	2	(2-0)	2	前又は後	考古学の体系的な概要について学ぶ。
B学共216	民俗学Ⅰ	地域	2	(2-0)	2	前又は後	民俗学の体系的な概要について学ぶ。
B学共220	経済地理学	地域	2	(2-0)	2	前又は後	立地論などをテーマとした地理学について学ぶ。

プログラム専門科目（夜間主コース）

経済学プログラム専門科目（基礎科目）

科目番号	授 業 科 目	単位数	週時間	受講年次	学 期	授 業 内 容
B経済101	経済数学（基礎）	2	(2-0)	2	前①	経済学の修得に最低限必要な数学を学習する（基礎）。
B経済102	経済数学（応用）	2	(2-0)	2	前②	経済学の修得に最低限必要な数学を学習する（応用）。
B経済103	ミクロ経済学（基礎）	2	(2-0)	2	後①	個人や企業といった個々の経済主体が合理的に行動するとき、彼らの行う意思決定、および、実現する経済の望ましさについて解説する。
B経済104	ミクロ経済学（応用）	2	(2-0)	2	後②	各経済主体による意思決定の結果、望ましい経済が実現しないとき、望ましい経済を実現できない理由、および、経済を是正する方策について解説する。
B経済105	マクロ経済学（基礎）	2	(2-0)	2	後①	経済全体の生産、雇用、消費、投資の決定メカニズムと、物価変動や経済成長の要因などについて講義する。
B経済106	マクロ経済学（応用）	2	(2-0)	2	後②	マクロ経済体系について学習し、財政政策や金融政策による政府の介入効果について講義する。
B経済107	基礎統計学	2	(2-0)	2	前	経済データの分析を行うために必要な基礎的な統計学の理論について講義する。
B経済205	地域経済入門	2	(2-0)	1～2前	前又は後	沖縄の産業構造、雇用、財政、沖縄振興策等について講義する。
B経済206	国際経済入門	2	(2-0)	1～2前	前又は後	国際貿易、国際直接投資、国際金融の基礎知識について講義する。
B経済207	経済史入門	2	(2-0)	1～2前	前又は後	近代から現代における経済成長の過程及び諸産業の発展過程を講義する。
B経済208	社会政策入門	2	(2-0)	1～2前	前又は後	社会の問題を検討し、解決する主体や方法を、地域再生、文化政策、貧困問題など今日的テーマで考えていく。
B経済254	沖縄経済入門	2	(2-0)	1～2	前又は後	沖縄の産業構造、雇用、財政、沖縄振興策等について講義する。
B経済301	日本経済史	2	(2-0)	2後～3	前又は後	近世から近代における経済政策、諸産業の発展過程とその際に生じた公害問題、環境問題などについて講義する。
B経済302	西洋経済史	2	(2-0)	2後～3	前又は後	コロンブスによる「新大陸」の発見に始まる西洋を中心としたグローバル化と、アジアへの工業化の波及について講義する。
B経済303	経済政策論	2	(2-0)	2後～3	前又は後	経済政策に関わる諸原理と経済理論の政策的応用、日本経済や世界経済を取り巻く構造と変化、政策対応、市場機構と資源配分、経済成長と経済安定化、グローバル化の経済への影響、エネルギー、環境、社会保障など。
B経済304	財政学	2	(2-0)	2後～3	前又は後	公共財、予算、税制、財政赤字、社会保障、財政政策をはじめ、財政が抱える様々な問題を考える。
B経済305	金融論	2	(2-0)	2後～3	前又は後	金融経済に関わる経済理論を体系的に講義する。
B経済306	計量経済学	2	(2-0)	2後～3	前又は後	基礎的な計量経済学を概説する。
B経済307	国際経済学	2	(2-0)	2後～3	前又は後	国際貿易、国際直接投資の理論・政策について講義する。
B経済308	ゲーム理論	2	(2-0)	2後～3	前又は後	ゲーム理論に関する初中級の内容を講義する。
B経済309	環境経済学	2	(2-0)	2後～3	前又は後	環境問題や環境政策を経済学の視点から読み解くための基礎知識を学ぶ。
B経済310	労働経済学	2	(2-0)	2後～3	前又は後	労働供給、労働需要の理論的な理解を土台として、賃金や雇用、失業のメカニズムを学習する。

B経済311	公共経済学	2	(2-0)	2後～3	前又は後	公共部門の存在根拠、公共部門による活動やその効果について、主にミクロ経済学の視点から解説する。
B経済312	開発経済学	2	(2-0)	2後～3	前又は後	発展途上国の貧困問題を経済学的に考察し、経済開発や開発援助のあり方などについて学習する。
B経済313	社会政策論	2	(2-0)	2後～3	前又は後	社会の問題を検討し、解決する主体や方法を考える。社会保障、労働問題、地域再生、文化政策などの分野や「子どもの貧困」などの今日的課題も取り扱う。
B経済314	法と経済学	2	(2-0)	2後～3	前又は後	経済モデルを使い、経済学がどのように法制度を説明するのかを不法行為・所有権法等の分野を通して講義する。
B経済315	情報処理実習	2	(0-2)	2後～3	前又は後	経済の統計を使い、情報処理の方法について学習する。

プログラム専門科目（夜間主コース）

経済学プログラム専門科目（応用科目）

科目番号	授業科目	単位数	週時間	受講年次	学期	授業内容
B経済402	地域政策論	2	(2-0)	3～4	前又は後	地域の公共政策的課題や経済・産業振興に関する諸課題について取り扱う。地域における政策主体や政策目的、地方自治体レベルでの、産業政策、医療・福祉、交通、都市政策等の政策形成プロセス。
B経済403	都市経済学	2	(2-0)	3～4	前又は後	東京一極集中の問題をはじめ、交通混雑、土地利用、住宅や企業の立地、環境、財政など都市が抱える様々な問題を学習する。
B経済404	ファイナンス理論	2	(2-0)	3～4	前又は後	金融資産の戦略、価格付け等に関する理論を講義する。
B経済405	応用統計学	2	(2-0)	3～4	前又は後	時系列モデルや一般化線形モデルなど、主に経済データの分析に利用されるより発展的な統計分析の手法について講義する。
B経済406	応用計量経済学	2	(2-0)	3～4	前又は後	計量経済学の応用編。ミクロ計量分析やマクロ計量分析について講義する。
B経済407	社会経済史	2	(2-0)	3～4	前又は後	近代都市の形成過程とその際生じた諸問題について講義する。
B経済408	国際マクロ経済学	2	(2-0)	3～4	前又は後	国際金融の基礎知識、国際マクロ経済の理論・政策について講義する。
B経済409	島嶼経済論	2	(2-0)	3～4	前又は後	島嶼地域の特性を踏まえた経済のあり方と持続的発展の可能性について考察する。
B経済411	地方財政論	2	(2-0)	3～4	前又は後	地方分権をめぐる様々な論点を経済学の視点から考察し、我が国の地方財政制度の現状や課題について解説する。
B経済412	アジア経済論	2	(2-0)	3～4	前又は後	アジア経済の発展パターンとその要因を経済学的に考察し、他の発展途上国・地域と比較しながら発展のために必要な政策などについて学習する。
B経済413	応用金融論	2	(2-0)	3～4	前又は後	金融政策、金融機関の業務、金融制度、および金融商品の運用について学習する。
B経済499	卒業研究	2	(0-2)	4	後	卒業論文の作成を行う。

プログラム専門科目（夜間主コース）

経済学プログラム専門科目（地域・国際実践力科目）

科目番号	授業科目	単位数	週時間	受講年次	学期	授業内容
B経済501	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	(0-2)	3	前	分野毎の個別研究・討議・発表・論文の作成を行う。
B経済502	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	(0-2)	3	後	分野毎の個別研究・討議・発表・論文の作成を行う。
B経済503	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	(0-2)	4	前	分野毎の個別研究・討議・発表・論文の作成を行う。
B経済504	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	(0-2)	4	後	分野毎の個別研究・討議・発表・論文の作成を行う。

経済学プログラム専門科目（夜間主）

経済学プログラム専門科目（基礎科目）

科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考	科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考
B経済101	経済数学（基礎）	2	2	前①	必修	B経済301	日本経済史	2	2後～3	前又は後	
B経済102	経済数学（応用）	2	2	前②	必修	B経済302	西洋経済史	2	2後～3	前又は後	
B経済103	ミクロ経済学（基礎）	2	2	後①	必修	B経済303	経済政策論	2	2後～3	前又は後	
B経済104	ミクロ経済学（応用）	2	2	後②	必修	B経済304	財政学	2	2後～3	前又は後	
B経済105	マクロ経済学（基礎）	2	2	後①	必修	B経済305	金融論	2	2後～3	前又は後	
B経済106	マクロ経済学（応用）	2	2	後②	必修	B経済306	計量経済学	2	2後～3	前又は後	
B経済107	基礎統計学	2	2	前	必修	B経済307	国際経済学	2	2後～3	前又は後	
B経済205	地域経済入門	2	1～2前	前又は後		B経済308	ゲーム理論	2	2後～3	前又は後	
B経済206	国際経済入門	2	1～2前	前又は後		B経済309	環境経済学	2	2後～3	前又は後	
B経済207	経済史入門	2	1～2前	前又は後		B経済310	労働経済学	2	2後～3	前又は後	
B経済208	社会政策入門	2	1～2前	前又は後		B経済311	公共経済学	2	2後～3	前又は後	
B経済254	沖縄経済入門	2	1～2	前又は後		B経済312	開発経済学	2	2後～3	前又は後	
						B経済313	社会政策論	2	2後～3	前又は後	
						B経済314	法と経済学	2	2後～3	前又は後	
						B経済315	情報処理実習	2	2後～3	前又は後	

注1：経済数学（基礎）、経済数学（応用）、基礎統計学、ミクロ経済学（基礎）、ミクロ経済学（応用）、マクロ経済学（基礎）、マクロ経済学（応用）の7科目は必修。

B経済学プログラム専門科目（応用科目）

科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考	科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考
B経済402	地域政策論	2	3～4	前又は後		B経済409	島嶼経済論	2	3～4	前又は後	
B経済403	都市経済学	2	3～4	前又は後		B経済411	地方財政論	2	3～4	前又は後	
B経済404	ファイナンス理論	2	3～4	前又は後		B経済412	アジア経済論	2	3～4	前又は後	
B経済405	応用統計学	2	3～4	前又は後		B経済413	応用金融論	2	3～4	前又は後	
B経済406	応用計量経済学	2	3～4	前又は後		B経済499	卒業研究	2	4	後	
B経済407	社会経済史	2	3～4	前又は後							
B経済408	国際マクロ経済学	2	3～4	前又は後							

注1：卒業研究は必修。

B経済学プログラム専門科目（地域・国際実践力）

科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考	科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考
B経済501	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	3	前							
B経済502	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	3	後							
B経済503	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	4	前							
B経済504	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	4	後							

注1：地域・国際実践力演習Ⅰ～Ⅳは必修。

注2：地域・国際実践力科目は、上記科目以外に他プログラム・他学部提供の教職に関する科目、フィールドワーク科目やインターシップ科目も含まれる。

卒業要件 経済学プログラム（夜間主コース）

授業科目の区分		必修	選択	
共通教育	教養領域	健康運動系科目	2	14
		人文系科目	4	
		社会系科目	4	
		自然系科目	4	
	総合領域	総合		
		琉大特色・地域創生科目		
		キャリア関係科目		
	基幹領域	情報関係科目		
		第1外国語	8	
		第2外国語	4	
小計		26	14	
共通教育科目総計		40		
専門教育	学部共通基盤専門科目	専門基盤力科目	2	6
	プログラム専門科目	経済学プログラム専門科目（基礎科目）	14	22 (基礎科目8単位を含む)
		経済学プログラム専門科目（応用科目）	2	
		地域・国際実践力科目	8	
	地域・国際実践力科目(読替科目)			30
	小計		26	58
専門教育科目総計		84		
総単位数		124		

- 卒業単位は合計124単位以上とする。
- 共通教育科目は40単位とする。

教養領域	健康運動系科目	2単位以上
	人文系科目	4単位以上
	社会系科目	4単位以上
	自然系科目	4単位以上
健康運動系科目を除く教養領域・総合領域及び情報関係科目		14単位以上
基幹領域	第1外国語	8単位以上
	第2外国語	4単位以上

注1) 共通教育等の履修要件の詳細については「琉球大学共通教育等履修規程」及び同規程別表3「各学部学科等別共通教育等履修基準表」を参照すること。

- 専門科目は84単位以上とする。

(1) 学部共通基盤専門科目は以下のとおり合計8単位以上を履修する。

- 専門基盤力科目は、基礎演習(2単位)を必修とする。
- 経済学プログラム希望の場合、学部共通基盤専門科目の中から経済学系科目2科目を履修する。

(2) 経済学プログラム専門科目は以下のとおり合計76単位以上を履修する。

- 基礎科目のうち、基礎統計学、経済数学(基礎)、経済数学(応用)、ミクロ経済学(基礎)、ミクロ経済学(応用)、マクロ経済学(基礎)、マクロ経済学(応用)の7科目(14単位)を含む22単位以上を履修する。
- 応用科目は卒業研究(2単位)を必修とする。
- 基礎科目と応用科目を合わせて(卒業研究を含む)38単位以上を履修する。
- 地域・国際実践力科目は、地域・国際実践力演習I~IV(8単位)を必修とする。
- 他プログラム・他学部提供の専門科目・教職科目は、プログラム専門科目(地域・国際実践力科目)の単位として読み替えることができる。
- 学部共通基盤専門科目(8単位)及びプログラム専門科目(38単位)を超過した分は、プログラム専門科目(地域・国際実践力科目)の単位として読み替えることができる。

(3) 一学期に登録できる単位数の上限は20単位(共通教育科目を含め)とする。ただし集中講義はこの中に含めない。

(4) 直前に在学した学期の5段階評価によるGPAが3.0以上の者は、指導教員の指導・承認を得て26単位までの登録を認める。

(5) GPAの値にかかわらず、教員免許・博物館学芸員等の資格取得予定者は、指導教員の指導・承認を得て登録単位の上積みをも6単位まで認める。ただし、超過する分は資格取得に必要な該当科目とする。

(6) 資格取得希望者に該当する者のGPAが3.0以上の場合でも26単位までとする。

注2) 夜間主コースの学生は、昼間に開講される授業科目から履修することができ、そのうち40単位(教員免許関係の科目を除く)までは卒業単位として認められる。